

◎環境保護に関する南極条約議定書

(略称) 南極環境保護議定書

平成	三年	十月	四日	マドリッドで作成
平成	十年	一月	十四日	効力発生
平成	四年	九月	二十九日	署名
平成	九年	四月	三日	国会承認
平成	九年	十二月	九日	受諾の閣議決定
平成	九年	十二月	十五日	受諾書寄託
平成	九年	十二月	十八日	公布(条約第一四号)
平成	九年	十二月	十八日	告示(外務省告示第五八五号)
平成	十年	一月	十四日	我が国について効力発生

前文	七	ページ
第一条 定義	七	
第二条 目的及び指定	八	
第三条 環境に関する原則	八	
第四条 南極条約体制における他の構成要素との関係	一一	
第五条 南極条約体制における他の構成要素との整合性	一一	
第六条 協力	一一	
第七条 鉱物資源に関する活動の禁止	一二	
第八条 環境影響評価	一二	
第九条 附属書	一三	
第十条 南極条約協議国会議	一四	

第十一条	環境保護委員会	一四
第十二条	委員会の任務	一五
第十三条	この議定書の遵守	一六
第十四条	査察	一六
第十五条	緊急時における対応措置	一七
第十六条	責任	一八
第十七条	締約国による年次報告	一八
第十八条	紛争解決	一九
第十九条	紛争解決手続の選択	一九
第二十条	紛争解決手続	二〇
第二十一条	署名	二〇
第二十二条	批准、受諾、承認又は加入	二一
第二十三条	効力発生	二一
第二十四条	留保	二一
第二十五条	修正又は改正	二二
第二十六条	寄託政府による通報	二三
第二十七条	正文及び国際連合への登録	二三
付 録	仲裁	二三
第一条	仲裁裁判所	二三
第二条	仲裁人の指名	二四
第三条	仲裁裁判所の構成	二四
第四条	仲裁手続の開始	二五
第五条	手続規則	二六
第六条	暫定措置	二六
第七条	仲裁手続への参加	二七
第八条	紛争当事国の義務	二七

第九條	欠席	二七
第十條	仲裁判断	二七
第十一條	仲裁判断の拘束力	二八
第十二條	決定	二八
第十三條	この付録の改正又は修正	二八
附屬書Ⅰ 環境影響評価		
第一條	予備段階	二九
第二條	初期の環境評価書	二九
第三條	包括的な環境評価書	三〇
第四條	包括的な環境評価書に基づく決定	三一
第五條	監視	三二
第六條	情報の送付	三二
第七條	緊急事態	三三
第八條	改正又は修正	三三
附屬書Ⅱ 南極の動物相及び植物相の保存		
第一條	定義	三三
第二條	緊急事態	三五
第三條	在来の動物相及び植物相の保護	三五
第四條	非在来種、寄生虫及び疾病の持込み	三六
第五條	情報	三七
第六條	情報の交換	三七
第七條	南極条約体制の範囲外の他の合意との関係	三八
第八條	検討	三八
第九條	改正又は修正	三八
付録 A	特別保護種	三九
付録 B	動物及び植物の持込み	三九

付録 C 微生物の持込みを防止するための予防措置……………三九

附屬書 III 廃棄物の処分及び廃棄物の管理……………三九

第一条 一般的義務……………三九

第二条 南極条約地域からの除去による廃棄物の処分……………四〇

第三条 焼却による廃棄物の処分……………四一

第四条 廃棄物の陸上におけるその他の処分……………四二

第五条 海洋における廃棄物の処分……………四二

第六条 廃棄物の保管……………四三

第七条 持込禁止品……………四三

第八条 廃棄物の管理計画の立案……………四三

第九条 廃棄物の管理計画の送付及び検討……………四四

第十条 管理の方法……………四五

第十一条 検討……………四五

第十二条 緊急事態……………四五

第十三条 改正又は修正……………四五

附屬書 IV 海洋汚染の防止……………四六

第一条 定義……………四六

第二条 適用……………四七

第三条 油の排出……………四七

第四条 有害液体物質の排出……………四八

第五条 廃棄物の処分……………四八

第六条 汚水の排出……………四九

第七条 緊急事態……………四九

第八条 南極の環境に依存し及び関連する生態系に及ぼす影響……………五〇

第九条 船舶の保留能力及び受入施設……………五〇

第十条 船舶の設計、建造、乗組員の配乗及び設備……………五一

第十一条	主権免除	五一
第十二条	防止措置並びに緊急事態に係る準備及び対応	五一
第十三条	検討	五二
第十四条	MARPOL七三／七八との関係	五二
第十五条	改正又は修正	五二
末文		五三

環境保護に関する南極条約議定書

前文

この南極条約議定書の締約国（以下「締約国」という。）は、

南極の環境並びにこれに依存し及び関連する生態系の保護を促進する必要性を確信し、

南極地域が専ら平和的目的のため恒久的に利用され、かつ、国際的不和の舞台とならないうことを確保するため南極条約体制を強化する必要性を確信し、

南極地域の特別な法的及び政治的地位並びに南極地域におけるすべての活動が南極条約の目的及び原則に適合することを確保することについての南極条約協議国の特別の責任に留意し、

南極地域が特別保存地域として指定されたこと並びに南極の環境並びにこれに依存し及び関連する生態系を保護するための南極条約体制の下で採択された他の措置を想起し、

更に、南極地域が地球的及び地域的規模において重要な環境の科学的監視及び調査の独特の機会を提供することを確信し、

南極の海洋生物資源の保存に関する条約の保存に関する原則を再確認し、

南極の環境並びにこれに依存し及び関連する生態系の保護のための包括的な制度を發展させることが人類全体の利益であることを確信し、

このため、南極条約を補足することを希望し、
次のとおり協定した。

第一条 定義

この議定書の適用上、

PROTOCOL ON ENVIRONMENTAL PROTECTION TO THE ANTARCTIC
TREATY.

PREAMBLE

The States Parties to this Protocol to the Antarctic Treaty, hereinafter referred to as the Parties,

Convinced of the need to enhance the protection of the Antarctic environment and dependent and associated ecosystems;

Convinced of the need to strengthen the Antarctic Treaty system so as to ensure that Antarctica shall continue forever to be used exclusively for peaceful purposes and shall not become the scene or object of international discord;

Bearing in mind the special legal and political status of Antarctica and the special responsibility of the Antarctic Treaty Consultative Parties to ensure that all activities in Antarctica are consistent with the purposes and principles of the Antarctic Treaty;

Recalling the designation of Antarctica as a Special Conservation Area and other measures adopted under the Antarctic Treaty system to protect the Antarctic environment and dependent and associated ecosystems;

Acknowledging further the unique opportunities Antarctica offers for scientific monitoring of and research on processes of global as well as regional importance;

Reaffirming the conservation principles of the Convention on the Conservation of Antarctic Marine Living Resources;

Convinced that the development of a comprehensive regime for the protection of the Antarctic environment and dependent and associated ecosystems is in the interest of mankind as a whole;

Desiring to supplement the Antarctic Treaty to this end;

Have agreed as follows:

ARTICLE 1

DEFINITIONS

For the purposes of this Protocol:

南極環境保護議定書

- (a) 「南極条約」とは、千九百五十九年十二月一日にワシントンで作成された南極条約をいう。
- (b) 「南極条約地域」とは、南極条約第六条の規定に従い同条約の適用される地域をいう。
- (c) 「南極条約協議国会議」とは、南極条約第九条に定める会合をいう。
- (d) 「南極条約協議国」とは、南極条約第九条に定めるところに参加する代表者を任命する権利を有する同条約の締約国をいう。
- (e) 「南極条約体制」とは、南極条約、同条約に基づく有効な措置、同条約に関連する別個の有効な国際文書及びこれらの国際文書に基づく有効な措置をいう。
- (f) 「仲裁裁判所」とは、この議定書の不可分の一部を成す付録によつて設置される仲裁裁判所をいう。
- (g) 「委員会」とは、第十一条の規定によつて設置される環境保護委員会をいう。

第二条 目的及び指定

目的及び指定
締約国は、南極の環境並びにこれに依存し及び関連する生態系を包括的に保護する（これを約束し）¹の議定書により、南極地域を平和及び科学に貢献する自然保護地域として指定する。

第三条 環境に関する原則

1 南極の環境並びにこれに依存し及び関連する生態系の保護並びに南極地域の固有の価値（原生地域としての価値、芸術上の価値及び科学的調査、特に、地球環境の理解のために不可欠な調査）を実施するたりの地域としての価値を含む。）の保護は、南極条約地域におけるすべての活動を計画し及び実施するに当たり考慮すべき基本的な事項とする。

- (a) "The Antarctic Treaty" means the Antarctic Treaty done at Washington on 1 December 1959;
- (b) "Antarctic Treaty area" means the area to which the provisions of the Antarctic Treaty apply in accordance with Article VI of that Treaty;
- (c) "Antarctic Treaty Consultative Meetings" means the meetings referred to in Article IX of the Antarctic Treaty;
- (d) "Antarctic Treaty Consultative Parties" means the Contracting Parties to the Antarctic Treaty entitled to appoint representatives to participate in the meetings referred to in Article IX of that Treaty;
- (e) "Antarctic Treaty system" means the Antarctic Treaty, the measures in effect under that Treaty, its associated separate international instruments in force and the measures in effect under those instruments;
- (f) "Arbitral Tribunal" means the Arbitral Tribunal established in accordance with the Schedule to this Protocol, which forms an integral part thereof;
- (g) "Committee" means the Committee for Environmental Protection established in accordance with Article 11.

ARTICLE 2

OBJECTIVE AND DESIGNATION

The Parties commit themselves to the comprehensive protection of the Antarctic environment and dependent associated ecosystems and hereby designate Antarctica as a natural reserve, devoted to peace and science.

ARTICLE 3

ENVIRONMENTAL PRINCIPLES

1. The protection of the Antarctic environment and dependent and associated ecosystems and the intrinsic value of Antarctica, including its wilderness and aesthetic values and its value as an area for the conduct of scientific research, in particular research essential to understanding the global environment, shall be fundamental considerations in the planning and conduct of all activities in the Antarctic Treaty area.

2 このため、

- (a) 南極条約地域における活動は、南極の環境並びにこれに依存し及び関連する生態系に対する悪影響を限定するように計画し及び実施する。
- (b) 南極条約地域における活動については、次のことを回避するように計画し及び実施する。
 - (i) 気候又は天候に対する悪影響
 - (ii) 大気の質又は水質に対する著しい悪影響
 - (iii) 大気、陸上（陸水を含む。）、水河又は海洋における環境の著しい変化
 - (iv) 動物及び植物の種又は種の個体群の分布、豊度又は生産性の有害な変化
 - (v) 絶滅のおそれがあり若しくは脅威にさらされている種又はこのような種の個体群を更に危険な状態にする（こと）。
 - (vi) 生物学上、科学上、歴史上、芸術上又は原生地域として重要な価値を有する地域の価値を減じ又はこれらの地域を相当な危険にさらす（こと）。
- (c) 南極条約地域における活動については、南極の環境並びにこれに依存し及び関連する生態系並びに南極地域の科学的調査を実施する地域としての価値に対して当該活動が及ぼすおそれのある影響につき事前の評価を可能にする十分な情報に基づき及びこの影響を知った上での判断に基づき、計画し及び実施する。このような判断に当たっては、次の事項を十分に考慮する。
 - (i) 活動の範囲（地域、期間及び程度を含む。）
 - (ii) 活動の累積的な影響（当該活動自体によるもの及び南極条約地域における他の活動の影響との複合によるものの双方）
 - (iii) 活動が南極条約地域における他の活動に有害な影響を及ぼすか否か。
 - (iv) 環境上問題を生じさせないように作業を行うための技術及び手順が利用可能であるか否か。
 - (v) 活動が及ぼす悪影響を特定し及び早期に警告を与えるために主要な環境上の指標及び生態系の構成

南極環境保護議定書

2. To this end:

- (a) activities in the Antarctic Treaty area shall be planned and conducted so as to limit adverse impacts on the Antarctic environment and dependent and associated ecosystems;
- (b) activities in the Antarctic Treaty area shall be planned and conducted so as to avoid:
 - (i) adverse effects on climate or weather patterns;
 - (ii) significant adverse effects on air or water quality;
 - (iii) significant changes in the atmospheric, terrestrial (including aquatic), glacial or marine environments;
 - (iv) detrimental changes in the distribution, abundance or productivity of species or populations of species of fauna and flora;
 - (v) further jeopardy to endangered or threatened species or populations of such species; or
 - (vi) degradation of, or substantial risk to, areas of biological, scientific, historic, aesthetic or wilderness significance;
- (c) activities in the Antarctic Treaty area shall be planned and conducted on the basis of information sufficient to allow prior assessments of, and informed judgments about, their possible impacts on the Antarctic environment and dependent and associated ecosystems and on the value of Antarctica for the conduct of scientific research; such judgments shall take full account of:
 - (i) the scope of the activity, including its area, duration and intensity;
 - (ii) the cumulative impacts of the activity, both by itself and in combination with other activities in the Antarctic Treaty area;
 - (iii) whether the activity will detrimentally affect any other activity in the Antarctic Treaty area;
 - (iv) whether technology and procedures are available to provide for environmentally safe operations;
 - (v) whether there exists the capacity to monitor

要素を監視する能力の有無並びに南極の環境並びにこれに依存し及び関連する生態系に関する監視の結果又は知識の増進に照らして必要となる作業手順の修正を行うための能力の有無

- (vi) 事故（特に、環境に影響を及ぼすおそれのあるもの）に対し迅速かつ効果的に対応する能力の有無
- (d) 実施中の活動の影響についての評価（予測された影響の検証を含む。）を行うため、定期的かつ効果的な監視を行う。
- (e) 南極条約地域の内外で実施される活動が南極の環境並びにこれに依存し及び関連する生態系に及ぼす予測されなかった影響を早期に探知することを容易にするため、定期的かつ効果的な監視を行う。
- 3 南極条約地域における活動については、科学的調査を優先するよう及び南極地域の科学的調査（地球環境の理解のために不可欠な調査を含む。）を実施する地域としての価値を保護するように計画し及び実施する。
- 4 南極条約地域において科学的調査の計画に基づき実施される活動、同地域における観光並びに政府及び非政府の他のすべての活動であって、南極条約第七条5の規定に従い事前の通告を必要とするもの（関連する後方支援活動を含む。）については、
 - (a) この条に定める原則に適合する方法で行う。
 - (b) この条に定める原則に反して南極の環境又はこれに依存し若しくは関連する生態系に影響を及ぼし又は及ぼすおそれがある場合には、修正し、停止し又は取りやめる。

第四条 南極条約体制における他の構成要素との関係

- (vi) whether there exists the capacity to respond promptly and effectively to accidents, particularly those with potential environmental effects;
- (d) regular and effective monitoring shall take place to allow assessment of the impacts of ongoing activities, including the verification of predicted impacts;
- (e) regular and effective monitoring shall take place to facilitate early detection of the possible unforeseen effects of activities carried on both within and outside the Antarctic Treaty area on the Antarctic environment and dependent and associated ecosystems.
- 3. Activities shall be planned and conducted in the Antarctic Treaty area so as to accord priority to scientific research and to preserve the value of Antarctica as an area for the conduct of such research, including research essential to understanding the global environment.
- 4. Activities undertaken in the Antarctic Treaty area pursuant to scientific research programmes, tourism and all other governmental and non-governmental activities in the Antarctic Treaty area for which advance notice is required in accordance with Article VII (5) of the Antarctic Treaty, including associated logistic support activities, shall:
 - (a) take place in a manner consistent with the principles in this Article; and
 - (b) be modified, suspended or cancelled if they result in or threaten to result in impacts upon the Antarctic environment or dependent or associated ecosystems inconsistent with those principles.

ARTICLE 4

RELATIONSHIP WITH THE OTHER COMPONENTS OF THE ANTARCTIC TREATY SYSTEM

南極条約
体制にお
ける他の
構成要素
との関係

- 1 この議定書は、南極条約を補足するものとし、同条約を修正し又は改正するものではない。
- 2 この議定書のいかなる規定も、締約国が南極条約体制における他の有効な国際文書に基づき有する権利を害し及びこれらの国際文書に基づき負う義務を免れさせるものではない。

第五条 南極条約体制における他の構成要素との整合性

南極条約
体制にお
ける他の
構成要素
との整合
性

締約国は、この議定書の目的及び原則の達成を確保するため並びに南極条約体制における他の有効な国際文書の目的及び原則の達成に影響を及ぼすことを回避し又はこれらの国際文書の実施とこの議定書の実施との間の抵触を回避するため、これらの国際文書の締約国及びこれらの国際文書に基づいて設置された機関と協議し及び協力する。

第六条 協力

協
力

- 1 締約国は、南極条約地域における活動を計画し及び実施するに当たり、協力する。このため、各締約国は、次のことを行うよう努力する。
 - (a) 南極の環境並びにこれに依存し及び関連する生態系の保護に関し、科学上、技術上及び教育上の価値を有する協力計画を促進すること。
 - (b) 他の締約国に対し、環境影響評価の実施について適当な援助を与えること。
 - (c) 要請により、他の締約国に対し、環境に対する潜在的な危険に関する情報を提供すること並びに南極の環境又はこれに依存し及び関連する生態系に損害を与えるおそれのある事故の影響を最小にするための援助を与えること。
 - (d) 場所のいかんを問わず過度の集中によって生ずる累積的な影響を回避するため、将来設置される基地

南極環境保護議定書

1. This Protocol shall supplement the Antarctic Treaty and shall neither modify nor amend that Treaty.
2. Nothing in this Protocol shall derogate from the rights and obligations of the Parties to this Protocol under the other international instruments in force within the Antarctic Treaty system.

ARTICLE 5

CONSISTENCY WITH THE OTHER COMPONENTS OF
THE ANTARCTIC TREATY SYSTEM

The Parties shall consult and co-operate with the Contracting Parties to the other international instruments in force within the Antarctic Treaty system and their respective institutions with a view to ensuring the achievement of the objectives and principles of this Protocol and avoiding any interference with the achievement of the objectives and principles of those instruments or any inconsistency between the implementation of those instruments and of this Protocol.

ARTICLE 6

CO-OPERATION

1. The Parties shall co-operate in the planning and conduct of activities in the Antarctic Treaty area. To this end, each Party shall endeavour to:
 - (a) promote co-operative programmes of scientific, technical and educational value, concerning the protection of the Antarctic environment and dependent and associated ecosystems;
 - (b) provide appropriate assistance to other Parties in the preparation of environmental impact assessments;
 - (c) provide to other Parties upon request information relevant to any potential environmental risk and assistance to minimize the effects of accidents which may damage the Antarctic environment or dependent and associated ecosystems;
 - (d) consult with other Parties with regard to the

南極環境保護議定書

その他の施設の場所の選択に關し他の締約国と協議する。

- (e) 適当な場合には、合同で探検を行うこと及び基地その他の施設を共同で使用する。
- (f) 南極条約協議国会議が合意する措置をとる。
- 2 各締約国は、南極の環境並びにこれに依存し及び関連する生態系を保護するため、他の締約国が南極条約地域における活動を計画し及び実施するに当たり当該他の締約国にとって有用な情報を可能な範囲で提供することを約束する。
- 3 締約国は、南極条約地域における活動が同地域に近接する地域の環境に悪影響を及ぼさないことを確保するため、当該近接する地域において管轄権を行使する締約国と協力する。

第七条 鉱物資源に関する活動の禁止

鉱物資源
に關する
活動の禁
止

鉱物資源に関するいかなる活動も、科学的調査を除くほか、禁止する。

第八条 環境影響評価

環境影響
評価

- 1 2に規定する活動が計画される場合には、当該活動は、次のいずれの影響を及ぼすと判断されるかに応じ、南極の環境又はこれに依存し若しくは関連する生態系に及ぼす影響についての事前の評価のための手続であつて附属書1に規定するものに従うものとする。
- (a) 軽微な又は一時的な影響を下回る影響
- (b) 軽微な又は一時的な影響
- (c) 軽微な又は一時的な影響を上回る影響

choice of sites for prospective stations and other facilities so as to avoid the cumulative impacts caused by their excessive concentration in any location;

(e) where appropriate, undertake joint expeditions and share the use of stations and other facilities; and

(f) carry out such steps as may be agreed upon at Antarctic Treaty Consultative Meetings.

2. Each Party undertakes, to the extent possible, to share information that may be helpful to other Parties in planning and conducting their activities in the Antarctic Treaty area, with a view to the protection of the Antarctic environment and dependent and associated ecosystems.

3. The Parties shall co-operate with those Parties which may exercise jurisdiction in areas adjacent to the Antarctic Treaty area with a view to ensuring that activities in the Antarctic Treaty area do not have adverse environmental impacts on those areas.

ARTICLE 7

PROHIBITION OF MINERAL RESOURCE ACTIVITIES

Any activity relating to mineral resources, other than scientific research, shall be prohibited.

ARTICLE 8

ENVIRONMENTAL IMPACT ASSESSMENT

1. Proposed activities referred to in paragraph 2 below shall be subject to the procedures set out in Annex I for prior assessment of the impacts of those activities on the Antarctic environment or on dependent or associated ecosystems, according to whether those activities are identified as having:

- (a) less than a minor or transitory impact;
- (b) a minor or transitory impact; or
- (c) more than a minor or transitory impact.

- 2 各締約国は、附属書Iに規定する評価の手続が、南極条約地域において科学的調査の計画に基づき実施されるすべての活動、同地域における観光並びに政府及び非政府の他のすべての活動であつて、南極条約第七条5の規定に従い事前の通告を必要とするもの（関連する後方支援活動を含む。）に関する決定に至るまでの立案過程において適用されることを確保する。
- 3 附属書Iに規定する評価の手続は、活動のいかなる変更（既存の活動の拡大若しくは縮小、活動の追加、施設の廃棄又はその他の理由のいずれによつて生ずるかを問わぬ。）にいつても適用する。
- 4 二以上の締約国が共同で活動を計画する場合には、関係締約国は、附属書Iに規定する環境影響評価の手続の実施を調整する一の締約国を指定する。

第九条 附属書

- 1 この議定書の附属書は、この議定書の不可分の一部を成す。
- 2 附属書Iから附属書IVまでの附属書のほかに追加される附属書は、南極条約第九条の規定に従つて採択され、効力を生ずる。
- 3 附属書の改正及び修正は、南極条約第九条の規定に従つて採択され、効力を生ずる。ただし、いかなる附属書も、その附属書自体に改正及び修正が速やかに効力を生ずるための規定を定めなければならない。
- 4 2及び3の規定に従つて効力を生じた附属書並びに附属書の改正及び修正は、附属書自体に改正又は修正の効力発生について別段の定めがない限り、南極条約協議国でない南極条約の締約国又は採択の時に南極条約協議国でなかった南極条約の締約国については、寄託政府が当該締約国の承認の通告を受領した時に効力を生ずる。
- 5 附属書に別段の定めがある場合を除くほか、附属書は、第十八条から第二十条までに規定する紛争解決のための手続の適用を受ける。

南極環境保護議定書

2. Each Party shall ensure that the assessment procedures set out in Annex I are applied in the planning processes leading to decisions about any activities undertaken in the Antarctic Treaty area pursuant to scientific research programmes, tourism and all other governmental and non-governmental activities in the Antarctic Treaty area for which advance notice is required under Article VII (5) of the Antarctic Treaty, including associated logistic support activities.
3. The assessment procedures set out in Annex I shall apply to any change in an activity whether the change arises from an increase or decrease in the intensity of an existing activity, from the addition of an activity, the decommissioning of a facility, or otherwise.
4. Where activities are planned jointly by more than one Party, the Parties involved shall nominate one of their number to coordinate the implementation of the environmental impact assessment procedures set out in Annex I.

ARTICLE 9

ANNEXES

1. The Annexes to this Protocol shall form an integral part thereof.
2. Annexes, additional to Annexes I-IV, may be adopted and become effective in accordance with Article IX of the Antarctic Treaty.
3. Amendments and modifications to Annexes may be adopted and become effective in accordance with Article IX of the Antarctic Treaty, provided that any Annex may itself make provision for amendments and modifications to become effective on an accelerated basis.
4. Annexes and any amendments and modifications thereto which have become effective in accordance with paragraphs 2 and 3 above shall, unless an Annex itself provides otherwise in respect of the entry into effect of any amendment or modification thereto, become effective for a Contracting Party to the Antarctic Treaty which is not an Antarctic Treaty Consultative Party, or which was not an Antarctic Treaty Consultative Party at the time of the adoption, when notice of approval of that Contracting Party has been received by the Depositary.
5. Annexes shall, except to the extent that an Annex provides otherwise, be subject to the procedures for dispute settlement set out in Articles 18 to 20.

南極環境保護議定書

第十条 南極条約協議国会議

- 1 南極条約協議国会議は、利用可能な最善の科学上及び技術上の助言を参考として、次のことを行う。
 - (a) この議定書の規定に従い、南極の環境並びにこれに依存し及び関連する生態系の包括的な保護についての一般的な政策を定めること。
 - (b) この議定書の実施のため、南極条約第九条の規定に基づく措置をとること。
- 2 南極条約協議国会議は、委員会によって行われた作業を検討するものとし、1に規定する任務を遂行するに当たり、委員会の助言及び勧告並びに南極研究科学委員会の助言を十分に参考とする。

第十一条 環境保護委員会

- 1 この議定書により環境保護委員会を設置する。
- 2 各締約国は、委員会の構成国となる権利及び代表を任命する権利を有する。代表は、専門家及び顧問を伴うことができる。
- 3 委員会におけるオブザーバーとしての地位は、この議定書の締約国でない南極条約のすべての締約国に開放される。
- 4 委員会は、南極研究科学委員会の委員長及び南極の海洋生物資源の保存のための科学委員会の議長に対しオブザーバーとして委員会の会合に参加するよう招請する。委員会は、更に、南極条約協議国会議の承認を得て、委員会の作業に貢献することができる他の適切な科学的機関、環境に関する機関及び技術的機関に対し委員会の会合にオブザーバーとして参加するよう招請することができる。

- 5 委員会は、その会合の報告書を南極条約協議国会議に提出する。当該報告書は、委員会の会合で審議

一四

ARTICLE 10

ANTARCTIC TREATY CONSULTATIVE MEETINGS

1. Antarctic Treaty Consultative Meetings shall, drawing upon the best scientific and technical advice available:
 - (a) define, in accordance with the provisions of this Protocol, the general policy for the comprehensive protection of the Antarctic environment and dependent and associated ecosystems; and
 - (b) adopt measures under Article IX of the Antarctic Treaty for the implementation of this Protocol.

2. Antarctic Treaty Consultative Meetings shall review the work of the Committee and shall draw fully upon its advice and recommendations in carrying out the tasks referred to in paragraph 1 above, as well as upon the advice of the Scientific Committee on Antarctic Research.

ARTICLE 11

COMMITTEE FOR ENVIRONMENTAL PROTECTION

1. There is hereby established the Committee for Environmental Protection.
2. Each Party shall be entitled to be a member of the Committee and to appoint a representative who may be accompanied by experts and advisers.
3. Observer status in the Committee shall be open to any Contracting Party to the Antarctic Treaty which is not a Party to this Protocol.
4. The Committee shall invite the President of the Scientific Committee on Antarctic Research and the Chairman of the Scientific Committee for the Conservation of Antarctic Marine Living Resources to participate as observers at its sessions. The Committee may also, with the approval of the Antarctic Treaty Consultative Meeting, invite such other relevant scientific, environmental and technical organisations which can contribute to its work to participate as observers at its sessions.

5. The Committee shall present a report on each of its sessions to the Antarctic Treaty Consultative Meeting. The

委員会の
任務

されたすべての問題を対象とし、及びその会合で表明された見解を反映するものとする。当該報告書は、その会合に出席した締約国及びオブザーバーに送付し、その後一般に利用可能なものとする。

6 委員会は、南極条約協議国会議による承認を条件として、委員会の手続規則を採択する。

第十二条 委員会の任務

1 委員会の任務は、附属書の運用を含むこの議定書の実施に関し南極条約協議国会議における審議のため締約国に対して助言を与え及び勧告を行うこと並びに同会議によって委員会に委任されるその他の任務を遂行することとする。特に、委員会は、次の事項に関して助言を与える。

- (a) この議定書に従ってとられる措置の効果
- (b) この議定書に従ってとられる措置を状況に応じて改定し、強化し又は改善する必要性
- (c) 適当な場合には、追加的な措置（附属書の追加を含む。）の必要性
- (d) 第八条及び附属書Iに規定する環境影響評価の手続の適用及び実施
- (e) 南極条約地域における活動の環境に対する影響を最小にし又は緩和する方法
- (f) 緊急措置を必要とする事態についての手続（環境上の緊急事態における対応措置を含む。）
- (g) 南極保護地区制度の運用及び改善
- (h) 査察の手続（査察の報告書の様式及び査察の実施のための点検項目の一覧表を含む。）
- (i) 環境保護に関する情報の収集、蓄積、交換及び評価

南極環境保護議定書

report shall cover all matters considered at the session and shall reflect the views expressed. The report shall be circulated to the Parties and to observers attending the session, and shall thereupon be made publicly available.

6. The Committee shall adopt its rules of procedure which shall be subject to approval by the Antarctic Treaty Consultative Meeting.

ARTICLE 12

FUNCTIONS OF THE COMMITTEE

1. The functions of the Committee shall be to provide advice and formulate recommendations to the Parties in connection with the implementation of this Protocol, including the operation of its Annexes, for consideration at Antarctic Treaty Consultative Meetings, and to perform such other functions as may be referred to it by the Antarctic Treaty Consultative Meetings. In particular, it shall provide advice on:

- (a) the effectiveness of measures taken pursuant to this Protocol;
- (b) the need to update, strengthen or otherwise improve such measures;
- (c) the need for additional Annexes, where appropriate;
- (d) the application and implementation of the environmental impact assessment procedures set out in Article 8 and Annex I;
- (e) means of minimising or mitigating environmental impacts of activities in the Antarctic Treaty area;
- (f) procedures for situations requiring urgent action, including response action in environmental emergencies;
- (g) the operation and further elaboration of the Antarctic Protected Area system;
- (h) inspection procedures, including formats for inspection reports and checklists for the conduct of inspections;
- (i) the collection, archiving, exchange and evaluation of information related to environmental protection;

南極環境保護議定書

(i) 南極の環境の状態

(k) この議定書の実施に関連する科学的調査（環境の監視を含む。）の必要性

2 委員会は、その任務を遂行するに当たり、適当な場合には、南極研究科学委員会、南極の海洋生物資源の保存のための科学委員会並びに他の適切な科学的機関、環境に関する機関及び技術的機関と協議する。

第十三条 この議定書の遵守

1 各締約国は、この議定書の遵守を確保するため、その権限の範囲内で適当な措置（法令の制定、行政措置及び執行措置を含む。）を講ずる。

2 各締約国は、いかなる者もこの議定書に反する活動を行わないようにするため、国際連合憲章に従った適当な努力をする。

3 各締約国は、1及び2の規定に従っている措置を他のすべての締約国に通報する。

4 各締約国は、この議定書の目的及び原則の実施に影響を及ぼすと認めるすべての活動につき他のすべての締約国の注意を喚起する。

5 南極条約協議国会議は、この議定書の締約国でない国に対し、当該国又はその機関、自然人、法人若しくは船舶、航空機その他の輸送手段によって実施される活動であつてこの議定書の目的及び原則の実施に影響を及ぼすすべてのものについて注意を喚起する。

第十四条 査察

1 南極条約協議国は、南極の環境並びにこれに依存し及び関連する生態系の保護を促進し並びにこの議定

(j) the state of the Antarctic environment; and

(k) the need for scientific research, including environmental monitoring, related to the implementation of this Protocol.

2. In carrying out its functions, the Committee shall, as appropriate, consult with the Scientific Committee on Antarctic Research, the Scientific Committee for the Conservation of Antarctic Marine Living Resources and other relevant scientific, environmental and technical organizations.

ARTICLE 13

COMPLIANCE WITH THIS PROTOCOL

1. Each Party shall take appropriate measures within its competence, including the adoption of laws and regulations, administrative actions and enforcement measures, to ensure compliance with this Protocol.

2. Each Party shall exert appropriate efforts, consistent with the Charter of the United Nations, to the end that no one engages in any activity contrary to this Protocol.

3. Each Party shall notify all other Parties of the measures it takes pursuant to paragraphs 1 and 2 above.

4. Each Party shall draw the attention of all other Parties to any activity which in its opinion affects the implementation of the objectives and principles of this Protocol.

5. The Antarctic Treaty Consultative Meetings shall draw the attention of any State which is not a Party to this Protocol to any activity undertaken by that State, its agencies, instrumentalities, natural or juridical persons, ships, aircraft or other means of transport which affects the implementation of the objectives and principles of this Protocol.

ARTICLE 14

INSPECTION

1. In order to promote the protection of the Antarctic environment and dependent and associated ecosystems, and to

書の遵守を確保するため、単独で又は共同して、南極条約第七条の規定に従って行われる監視員による査察のための措置をとる。

2 監視員は、次の者とする。

(a) いずれかの南極条約協議国によって指名される当該南極条約協議国の国民である監視員

(b) 南極条約協議国会議の定める手続に従い査察を行うため同会議で指名される監視員

3 締約国は、査察を行う監視員と十分に協力するものとし、査察の間、南極条約第七条3の規定に基づく査察のために開放されている基地、施設、備品、船舶及び航空機のすべての部分並びにこの議定書により要請されるすべての保管されたこれらに関する記録について監視員によるアクセスが認められることを確保する。

4 査察の報告書については、自国の基地、施設、備品、船舶又は航空機がその査察の報告書の対象となっている締約国に送付する。当該締約国が意見を述べる機会を与えられた後、当該査察の報告書及び意見は、すべての締約国及び委員会に送付され、並びに次の南極条約協議国会議で審議されるものとし、その後、当該査察の報告書及び意見は、一般に利用可能なものとする。

第十五条 緊急時における対応措置

1 南極条約地域における環境上の緊急事態に対応するため、各締約国は、次のことに同意する。

(a) 南極条約地域における科学的調査の計画、観光並びに政府及び非政府の他のすべての活動であって、南極条約第七条5の規定に従い事前の通告を必要とするもの（関連する後方支援活動を含む。）の実施から生ずる緊急事態に対し迅速かつ効果的な対応措置をとること。

(b) 南極の環境又はこれに依存し及び関連する生態系に悪影響を及ぼすおそれのある事件に対応するための緊急時計画を作成すること。

ensure compliance with this Protocol, the Antarctic Treaty Consultative Parties shall arrange, individually or collectively, for inspections by observers to be made in accordance with Article VII of the Antarctic Treaty.

2. Observers are:

(a) observers designated by any Antarctic Treaty Consultative Party who shall be nationals of that Party; and

(b) any observers designated at Antarctic Treaty Consultative Meetings to carry out inspections under procedures to be established by an Antarctic Treaty Consultative Meeting.

3. Parties shall co-operate fully with observers undertaking inspections, and shall ensure that during inspections, observers are given access to all parts of stations, installations, equipment, ships and aircraft open to inspection under Article VII (3) of the Antarctic Treaty, as well as to all records maintained thereon which are called for pursuant to this Protocol.

4. Reports of inspections shall be sent to the Parties whose stations, installations, equipment, ships or aircraft are covered by the reports. After those Parties have been given the opportunity to comment, the reports and any comments thereon shall be circulated to all the Parties and to the Committee, considered at the next Antarctic Treaty Consultative Meeting, and thereafter made publicly available.

ARTICLE 15

EMERGENCY RESPONSE ACTION

1. In order to respond to environmental emergencies in the Antarctic Treaty area, each Party agrees to:

(a) provide for prompt and effective response action to such emergencies which might arise in the performance of scientific research programmes, tourism and all other governmental and non-governmental activities in the Antarctic Treaty area for which advance notice is required under Article VII (5) of the Antarctic Treaty, including associated logistic support activities; and

(b) establish contingency plans for response to incidents with potential adverse effects on the Antarctic environment or dependent and associated ecosystems.

緊急時における対応措置

南極環境保護議定書

一八

2 このため、締約国は、

(a) 1 (b)の緊急時計画の作成及び実施について協力する。

(b) 環境上の緊急事態につき速やかに通報を行うため及び協力して対応するための手続を定める。

3 この条の規定の実施において、締約国は、適当な国際機関の助言を参考とする。

第十六条 責任

締約国は、南極の環境並びにこれに依存し及び関連する生態系の包括的な保護についてのこの議定書の目的に従い、南極条約地域において実施され、かつ、この議定書の適用を受ける活動から生ずる損害についての責任に関する規則及び手続を作成することを約束する。当該規則及び手続については、第九条2の規定に従って採択される一又は二以上の附属書に含める。

第十七条 締約国による年次報告

締約国に
よる年次
報告

1 各締約国は、この議定書の実施のためにとった措置を毎年報告する。その報告書には、第十三条3の規定に従って行われる通報、第十五条の規定に従って作成される緊急時計画並びにこの議定書に従って必要とされる他のすべての通告及び通報であって情報の送付及び交換に関し他に規定がないものを含める。

2 1の規定に従って作成される報告書は、すべての締約国及び委員会に送付され、並びに次の南極条約協議国会議で審議されるものとし、更に、当該報告書は、一般に利用可能なものとする。

2. To this end, the Parties shall:

(a) co-operate in the formulation and implementation of such contingency plans; and

(b) establish procedures for immediate notification of, and co-operative response to, environmental emergencies.

3. In the implementation of this Article, the Parties shall draw upon the advice of the appropriate international organisations.

ARTICLE 16

LIABILITY

Consistent with the objectives of this Protocol for the comprehensive protection of the Antarctic environment and dependent and associated ecosystems, the Parties undertake to elaborate rules and procedures relating to liability for damage arising from activities taking place in the Antarctic treaty area and covered by this Protocol. Those rules and procedures shall be included in one or more Annexes to be adopted in accordance with Article 9 (2).

ARTICLE 17

ANNUAL REPORT BY PARTIES

1. Each Party shall report annually on the steps taken to implement this Protocol. Such reports shall include notifications made in accordance with Article 13 (3), contingency plans established in accordance with Article 15 and any other notifications and information called for pursuant to this Protocol for which there is no other provision concerning the circulation and exchange of information.

2. Reports made in accordance with paragraph 1 above shall be circulated to all Parties and to the Committee, be considered at the next Antarctic Treaty Consultative Meeting, and made publicly available.